

## 梅窓院通信

施餓鬼号

No. 70

2014/04/01

青山



昨年の施餓鬼法要の様子。会場は祖師堂で、多くの僧侶による読経となります。

## 住職挨拶

## 梅窓院第二十五世 中島 真成

平成二十六年もはや四月を迎える頃となりました。皆様はお変わりなくお過ごしでしょうか。

私事ですが、もう数年で還暦を迎える年になりました。この『青山』をお読み頂いている皆様の多くは私よりも人生経験の長い方かと思いますが、月日の経つのが、年々早くなっているように思えます。仏教を開かれたお釈迦さまは「生老病死」を説かれましたが、私もこの「老」を身近に感じるようになりました。

さて、今年の二月には全国的に記録的な大雪に見舞われ、交通機関にも大きな影響が出ました。皆様はどうお過ごしになりましたでしょうか。

梅窓院では墓地清掃を担当する庶務スタッフがフル稼働で除雪にあたり



ました。皆様の墓参に支障はなかったでしょうか。

恒例となりました五月の梅窓院の団体参拝では福岡県久留米の善導寺に参ります。太宰府へのお参り、湯布院の温泉宿に泊まり、名物の「城下かれい」を味わい、別府にも立ち寄り参拝予定しております。多くの方のご参加をお待ちしています。

また、こちらも恒例となっております傳通院・祐天寺・梅窓院の三か寺合同の団体参拝ですが、こちらは八月二十五日から九月三日までスイスを訪れる予定です。今回の担当は傳通院さんになります。教会への参拝に加え、豊かな自然を楽しむ団参になるかと思えます。こちらへのご参加もお待ちしています。

昨年、山門脇に建立しましたペット供養塔の無礙光塔ですが、お檀家様から多くのご要望があったこともあり、すでに多くのペットが納骨されています。今はペットと言ってもその種類は本当に多種多様です。どんな種類のペットでも生き物ですので、飼い主さんの色々な配慮が必要になるのです。

調べてみましたら、ペットの中で一番多い種類は犬のようで、無礙光塔に納められているお骨も犬が一番多いようです。そう言えば、いろはカルタの「い」も、「犬も歩けば棒にあたる」でした。昔から犬は人に一番身近な動物のようです。

# お施餓鬼

## 五月十七日(土)

### 施餓鬼会法要(塔婆回向)

午前十時半～ 祖師堂

※塔婆のお申込み状況により、時間は変更する場合があります。

### 別時念仏会／半斎供養

午前十一時半～ 本堂

### お齋うけ(お食事を頂きます)

午前十二時十五分～ 観音堂

### 御説教

午後一時～ 祖師堂

講師 佐賀教区 鏡智院 中村 一之上人

### 大施餓鬼会法要

午後二時～ 祖師堂

- ・長時間にわたる法要の為、途中からの参加も可能です。
- ・塔婆回向(お名前の読み上げ)は午前十時半からの法要で行ないます。
- ・全ての法要終了後にお塔婆をお渡し致します。

### 回向のお申込み方法とお知らせ

#### ◆施餓鬼塔婆お申込み方法

御塔婆 御回向料 …… 1本/1万円

- ・同封のハガキにご記入の上4月30日(水)必着でお申込み下さい。
- ・施餓鬼会法要に参加される方は、出席人数も合わせてご記入下さい。(当日、出席人数分のお弁当をご用意致します。)
- ・御回向料は、同封の振込用紙で郵便局にてお支払い頂くか、受付までお持ち下さい。(銀行・コンビニでのお支払いはできません。)

#### 「せがき子どもひろば」のご案内

お施餓鬼の当日、梅窓院内に「子どもひろば」を設けます。保育士による絵本の朗読や、折り紙遊びなどを予定しております。是非この機会に、お子さまと一緒に御参り下さい。



昨年の子どもひろばの様子

※子どもひろばに関するお問い合わせは青山文化村まで。  
TEL 03-3404-8588

### 施餓鬼によせて

梅窓院では、近年五月の第三土曜日に行われますが、お盆の頃に行われることが多いため、お盆(孟蘭盆会)の法要と思われる方も多いと思います。ちなみに、一般家庭出身の私もそうでした。しかし本来は、別の法要なのです。

また、多くの寺院で行われていますね。

さて「施餓鬼」という漢字の意味は、字の通り「餓鬼」に施すことが目的の法要です。

餓鬼とは、餓鬼道という恐怖に満ちた世界に堕ちて、常に飢えと渇きに苦しんでいる者たちの中で、生前に物惜しみをして他人へ施しをしなかった人が餓鬼道に堕ちてしまいます。たいへん、耳がいたいですね。

実は、施餓鬼会を行うことには、大きく二

つの意味があります。一つは、餓鬼道で苦しみの中にいる餓鬼に食べ物や供え供養することです。特定の霊位に対してだけでなく三界(迷いに溢れる三つの世界)に生きる、萬霊に飲食を施すことが大切ですね。

もうひとつは、餓鬼に供養すると、大きな功德(良い行い)が積まれます。その功德を新たに亡くなられた人の霊位や先祖代々の霊位にふり向け、施主・志主となられた皆様方の福德円満・延寿を願うことが挙げられます。しよう。

毎日を無自覚で、流されるままに過ごしがちな私たちの生活を振りかえる、良い機会にしたいものです。たいへん過ぎしやすい季節ですので、御家族そろって御参りをされてはいかがでしょうか。

(法務部/関崎)

### 二月の行事報告

第61回 念仏と法話の会 2月25日(火)

# 開山忌法要

## 六月十四日(土)

梅窓院を開かれた南龍上人のご供養と報恩謝徳の法要を執り行います。また、法要後に能楽を奉納します。

なお、法要と能楽ともに一般の方も参列、観賞できます。ともに費用はかかりませんので、御家族・お友達お誘い合わせの上お越し下さい。

### 法要

午後三時～ 本堂

※法要終了後、休憩がいたします。

### 能楽奉納

午後四時～ 祖師堂

演目 半能「巴」



### 能楽演者のプロフィール

#### 橋本 忠樹(はしもと ただき)

1974年京都生まれ。東京藝術大学音楽学部卒。観世流シテ方橋本礪道長男。

父及び人間国宝・片山幽雪、十世・片山九郎右衛門に師事。幼少より父、礪道に師事し3歳で初舞台。大学在学時には、観世流シテ方26世宗家・観世清河寿、故・藤波重満、野村四郎、観世恭秀、関根知孝、各師に師事。

大学卒業と共に九世・片山九郎右衛門(現・幽雪)師の許で内弟子修行を積み2001年独立。

独立後は、若者に能楽の魅力を伝える新たな試みに挑戦し、祇園祭宵々山の日々に若者の集う商業施設・京都「新風館」の野外舞台リキウホールにて新風館初の演能、華道末生流笹岡家元・笹岡隆南と「生け花と能のコラボレーションの会」、お寺やバーでの能公演など、若者が気軽に能や日本の古典に触れられる機会を企画し公演を行っている。

2006年には、「日本・チュニジア国交50周年記念、カルタゴ芸術祭」にてチュニジア国では初の能公演に、その後もドイツ公演、アメリカ公演に参加し日本のみならず海外にて公演している。

また、実際に謡・仕舞を教え、伝える事にも熱心で、京都外国語大学や大阪市立大学、京都市立御所南小学校での稽古活動、京都・東京・滋賀・大阪・石川などでの稽古活動の他、「小さな子供のお稽古教室」も開き、幼少から日本の伝統文化である「能」に触れることによって「本物」を見極める目を養う機会を提供している。

(公益社団)日本能楽協会会員・(公益社団)京都観世会会員

東京藝術大学音楽学部同声会会員

DO YOU KYOTO?ネットワーク参加・京都市DO YOU KYOTO?大使



### 開山忌によせて

梅窓院の開山忌は、本年度四回目となります。開山は寺院を開創した僧侶のことで、平安時代の山谷を切り開いて寺が建立されたことから寺院には山号がつけられました。つまり、長青山ですね。そこから寺の初代の僧侶を開山上人と敬称で呼ぶようになりました。

当院の過去帳によれば、開山は「戴蓮社頂譽上人冠中南龍老和尚」で、朝の勤行で毎日ご回向しております。略して南龍上人(和尚)と尊称しています。その上人の名を檀信徒の皆様にも広く知って頂き、南龍上人のご供養と報恩感謝の為に、開山忌が始まりました。

しかし、上人についての詳しい資料は、現在のところ見つかっていません。わかっているのは、①生国は、下野国佐野(現・栃木県)の武家の出身、②父親は津田安右衛門(井伊掃部頭殿の家来)、③浄土宗の檀林だった神田(移転して現小金井市)の幡随意院や群馬県太田の光大院、また芝の増上寺で修行したこと。④梅窓院建立に携わり、その功績により開山上人になったこと。そして、⑤江戸時代の寛文十(1670)年、世寿六十七歳で遷化された。(「浄土宗寺院由緒書」)等です。

また、開山忌法要の後に観世流の能楽を奉納します。一般の方も参列、観賞できます。皆様お誘い合わせの上、ご来寺下さい。

(法務部/関崎)



戴蓮社頂譽上人冠中南龍老和尚

増上寺御忌大会

4月2日(水)～8日(火)  
大本山増上寺で、4月2日～8日までの7日間浄土宗の宗祖法然上人の御徳をたたえ、その御徳に感謝する特別な法要が行われます。4月3日、4日には詠唱大会が開かれ、北海道から静岡



昨年の増上寺大殿での詠唱奉納の様子

までの詠唱会が本堂で奉納します。4日に梅窓院の詠唱会も奉納しますので、みなさんお運び下さい。

はなまつり

4月5日(土)～8日(火)  
寺院棟2階 本堂  
寺院棟2階本堂エントランスに花御堂を、休憩所には甘茶をご用意しております。



誕生仏に甘茶をかける花御堂

施餓鬼会法要

5月17日(土) ※詳細は中面をご覧ください。

団体参拝旅行 ー大本山善導寺ー

5月26日(月)～27日(火)  
今年は福岡県久留米の善導寺に参ります。宿泊は大分県湯布院の予定です。



大本山善導寺本堂

開山忌法要・能楽奉納

6月14日(土)  
午後3時～ 本堂  
※詳細は中面をご覧ください。

第62回 念仏と法話の会

6月19日(木)  
午前11時20分～(受付は11時～)  
お齋/別時念仏/法話/茶話会  
法話:「命をつなぐ」  
講師 秋田教区 九品寺  
津村 信徳 上人

三ヶ寺団体参拝旅行 ースイスー

8月25日(月)～9月3日(水)  
傳通院・祐天寺・梅窓院の企画で、スイスに参ります。  
※詳細は同封のチラシをご覧ください。

お知らせ 消防訓練

3月7日(金)梅窓院で赤坂消防署の指導と監修のもとに消防訓練を行いました。僧侶や職員が消火活動を実践しましたが、真剣そのものでした。



お檀家さんに伺いました

平成26年修正会にて

「年中行事になっています」

元旦に行われる修正会は、我が家の年中行事になっています。1回目にこのような行事があった時はびっくりしましたがもう5回目になりましたね。法要に関しては太鼓がすばらしかったです。間に詠唱が奉納されたり、構成がとても良いです。重奏を感じることができました。

「おもてなし」

梅窓院の修正会は、法要があり神社よりもしっかりしているため参加しています。法要は迫力があり引き込まれました。子供も太鼓の音に合わせて手を叩いていました。また、お節やお雑煮を振舞う姿勢に「おもてなし」を感じます。

仲良くご家族三人で記念写真

発行/梅窓院  
発行日/平成26年4月1日  
発行人/中島 真成  
編集/青山文化村  
住所/〒107-0062  
東京都港区南青山2-26-38  
電話/03-3404-8447  
F A X/03-3404-8436  
ホームページ/http://www.baisouin.or.jp/  
E-Mail/jodo@baisouin.or.jp  
題字/中村康隆元浄土門主  
総本山知恩院第八十六世門跡

秋彼岸写真コンクール開催のお知らせ

今年も写真コンクールを開催致します。会場にて人気投票を行い、1位の方には景品を贈呈致します。詳細については6月1日発行の『青山』お盆号にてお知らせ致しますので、ふるってご応募下さい!!

